



秋田犬ツーリズム通信「奥秋田」

vol.007

発行日：2026 年 1 月 20 日

発行人：秋田犬ツーリズム

秋田犬ツーリズムの活動をもっと知っていただくために



一般社団法人秋田犬ツーリズムは今年の4月で設立から10年目を迎えます。

秋田犬ツーリズムは観光地域づくり法人（DMO）として、平成28（2016）年度より大館市・北秋田市・小坂町・上小阿仁村の秋田県北部4市町村をカバーする観光振興に取り組んでまいりました。

秋田犬ツーリズムの活動はこれまでも新聞や市町村広報紙などで紹介されてきたところですが、この度しばらくお休みしておりました「秋田犬ツーリズム通信 奥秋田」を発信することになりました。

これから月1回のペースで関係者の皆様に向けて活動を定期的にお知らせしてまいります！

秋田犬ツーリズム連絡調整協議会会員、行政、連携するDMO、その他関係機関や希望する個人などにeメールで発信するほか、当社HPやSNSなどを通じて発信し、皆様とのより良い関係構築を目指します。

今後とも魅力的な観光地になるべく地域と一丸となって「観光地域づくり」を推進してまいりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

◆地域が誇る食文化を大発信！

オーストラリアの大人気料理タレントのAdam Liaw（アダム・リアウ）さんが12月12日から13日かけて奥秋田エリアを訪問し、きりたんぼづくり体験やお米生産者との対談、秋田犬などの観光コンテンツの動画撮影を行いました。

本事業は、インバウンドの食関連消費の拡大を目的とした農林水産省の事業で、地方の食体験を通じて地方へのインバウンドの誘客、日本産農林水産物・食品のさらなる需要喚起等を図ることを目的に行われ、主にオーストラリア向けのPR動画として活用されます。



当地域が撮影地として選考された理由の一つに「SAVOR JAPAN」(*)の認定地域であることが挙げられることから、今後とも認定地域の強みを活かした情報発信や連携に努めてまいります。

※SAVOR JAPANとは

地域の食と、それを生み出す農林水産業を核として、訪日外国人の誘致を図る地域の取組を認定する制度。当エリアは「大館地域」として登録されています。

本事業をきっかけに、より一層当エリアへのインバウンドの誘客を図るとともに、食関連コンテンツや食文化の発信、消費拡大に努めます。

◆日本東北遊楽日 2025 に出展して来ました！



東北観光推進機構主催の台湾最大規模の東北観光 PR イベント「日本東北遊楽日 2025」に出展してまいりました。

12月5日は、台湾旅行会社とのBtoB商談会が行われ、18社22名のエージェントと商談してまいりました。10名前後の少人数のツアーを行っている旅行会社からは、当法人のランドオペレーターの資格を有する点が評価され、オーダーメイド型のツアー企画について、具体的な提案を行うことができました。

12月6日から7日にかけては、訪日意欲の高い台湾の方々に直接PRするBtoC向けの旅行博に、同じ県北のDMO「あきた白神ツーリズム」、「能代観光協会」と共同で出展いたしました。

当地域を来訪したことがある方や検討している方の属性調査を目的としたアンケート調査や、SNSを通じて直接地域の魅力をPRするためにフォローキャンペーンを実施し、多くの回答とフォローを獲得いたしました。

来場されたお客様の中には、秋田内陸線や十和田湖、秋田犬の里を訪問したことがある方もおり、前回訪問時とは別のシーズンに再訪したいという意欲の高さを感じました。

特に根強い人気は「雪」を楽しむコンテンツであり、樹氷鑑賞やスキー、雪遊びといったコンテンツに対する情報収集を行う人々が多数見られました。



その他には、秋田犬に直接ふれあうことを目的に「秋田犬Café」や「ふるさわおんせん」などの施設の情報や、東北の夏の祭り（秋田竿燈まつりや青森ねぶたまつりなど）に行ったことがある方々からは、まだ見ぬイベントへの参加意欲「大館神明社例祭」や「康楽館の芝居（歌舞伎）」の情報を求められました。

本イベントを通じて得られた情報を地域の皆さまに共有するとともに、訪日客の需要にマッチした情報発信や受け入れ体制の整備に活かしてまいります。

◆田代中学校「未来を語る会」へゲストティーチャーとして参加！

12月11日に大館市立田代中学校のふるさとキャリア教育の一環で開催された「未来を語る会」に、ゲストティーチャーとしての協力依頼を受け、対応してまいりました。

昨年度、同校からキャリア講師の協力依頼を受けたことがきっかけで、今年もお声がけいただきました。

同校生徒が一年間の職場体験・修学旅行で学んだことや、これからの地域の盛り上げ方についてまとめたプレゼンについて、地域で働く団体の視点で意見や感想を述べたほか、プレゼン内容に類似した事例に取り組んでいる地域の方々を紹介させていただきました。

今後も地域の子どもたちに対して地域観光の理解や地域で頑張っている方々を紹介する機会を創出してまいります。



◆「野外災害救急法 (WAFA)」講習を開催！



登山やトレッキングなど野外での活動中に事故や病人が発生した際の救急対応などを学ぶ国際資格「野外災害救急法 (WAFA)」取得のための講習を 11 月 26 日から 3 日間実施しました。

この資格は一般社団法人ウィルダネスメディカルアソシエイツジャパン (WMAJ) が提供するもので、自然豊かな当地域にてアウトドア・アクティビティーを実施する際、その安全性を高めて更に高品質なサービスを提供するために実施するものです。

日本のアドベンチャーツーリズム市場が拡大する中、特に若年層・アクティブな旅行者は「体験型」「自然への没入型旅行」を強く求めており、安全性強化のニーズも高まっています。

前回令和 4 年 12 月の開催から 3 年が経過し、受講者の認定資格が有効期限を迎えたことを受け、複数の事業者様から資格更新の要望が寄せられていたため開催する運びとなりました。



当日はマタギ、登山ガイドの方や阿仁スキー場職員など合計 8 名が参加し、現地にて WMAJ の講師による実技講習を受けました。参加者は終始真剣な面持ちで話に耳を傾け、学んだ知識や技術を今後の活動に活かしたいと意欲を高めていました。

◆山形県新庄商工会議所 視察受け入れ



新庄商工会議所からの要請を受け、12 月 8 日に視察対応を実施し、当日は会議所会員を中心とする経済団体関係者 18 名が来訪しました。

背景として、DMO 設立に向けた地域内の機運醸成や、新庄インターチェンジ周辺で検討が進む道の駅整備、小水力発電を財源とした DMC 設立構想などがあり、観光を軸とした地域経済振興の具体像を模索している状況があります。

当法人からは、観光・物産の実施事業や自治体・事業者との関係性、事業推進における課題や試行錯誤の過程について説明を行い、質疑応答を通じて意見交換を行いました。

滞在を通じて宿泊や飲食などの需要が生まれ、地域に経済的な波及効果がもたらされることは、大変ありがたいことです。今後もこのような要請があれば積極的に受け入れていきたいと考えております。

◆来訪者数データ速報（出所：東北観光 DMP（Agoop 社データ））

秋田犬ツーリズムではビッグデータを活用したマーケティングを行っています。スマホ GPS データを基に計測した当地域への来訪者数の速報値を毎月お知らせします。※注：数値は拡大推計されており、実数ではありません。外国人客および各市町村の居住者を除く数値です。

月別日帰り客数

- ・ 12月の4市町村全体の日帰り客数は約15万人で、前月比96%と若干減少しました。
- ・ 前年と比較すると、ほとんどの月で前年を下回っていますが、12月は104%と若干増加しました。



	前月比	前年同月比
大館市	103%	98%
北秋田市	88%	104%
小坂町	105%	108%
上小阿仁村	85%	154%
全体	96%	104%

月別宿泊者数

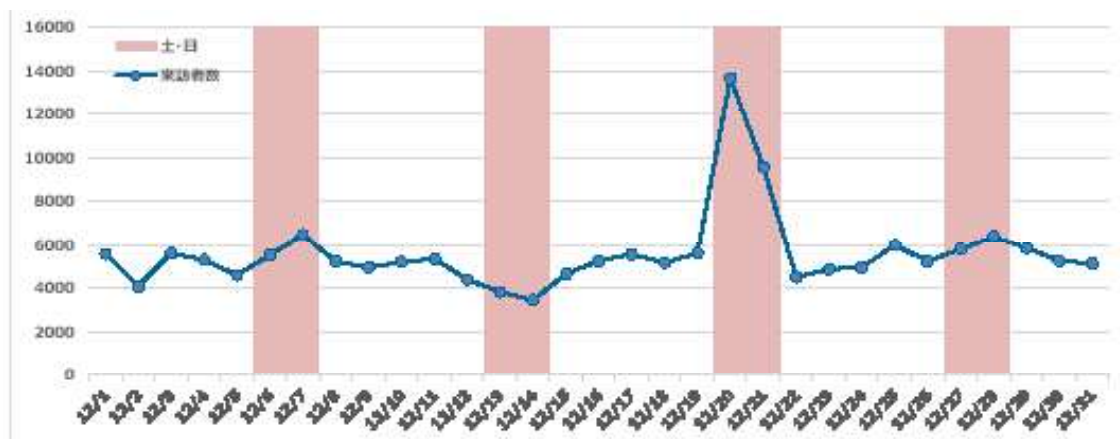
- ・ 12月の4市町村全体の宿泊客数は約1万4000人で、前月比99%とほぼ横ばいでした。
- ・ 前年同月比では108%で、特に北秋田市・小坂町への宿泊者数が増加しました。



	前月比	前年同月比
大館市	106%	92%
北秋田市	117%	124%
小坂町	69%	128%
上小阿仁村	29%	82%
全体	99%	108%

12月の日別延べ来訪者数（日帰り＆宿泊）

12/20～12/21の2日間は「クリスマスマーケット in 小坂」が開催され、小坂町の来訪者が大幅に増加しました。それ以外は曜日による差は比較的少なく、4,000～6,000人程度で推移し、全体の平均値は1日あたり約5,600人でした。





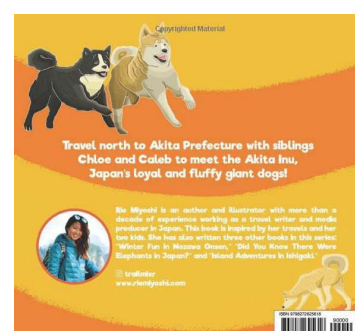
◆「こだわり AKITA セレクトショップ」のおすすめ商品を紹介します！



Let's Meet the Akita Inu

¥2,200 (税込) 税率 10%

ふわふわの秋田犬たちがしっぽを振って出迎えてくれる秋田県へ、きょうだいのクロエとケイレフと一緒に冒険の旅に出かけましょう！



こちらから
アクセス！

『Let's Meet the Akita Inu』は、英語で書かれたイラスト入りの児童書で、犬や旅が大好きなお子さまにぴったりの一冊です。秋田犬の歴史や性格、そして大切に受け継がれてきた文化や習慣について、ほっこりするイラストとともに優しく学んでいきます。プレゼントにもおすすめです！



本通信が、日頃の取り組みや状況の共有として何かの一助になりましたら幸いです。今後とも関係の皆さまと連携を図りながら、丁寧に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

HPはコチラ➡